

反応硬化形一液速乾エポキシシーラー



一液浸透シーラー

1液になって、より使いやすくなりました。

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

新築にも、塗り替えにも安心の付着力を発揮する、
反応硬化形一液速乾エポキシシーラーです。

塗料液と硬化剤がひとつになった。

エポキシ樹脂と反応する硬化剤を特殊加工して配合しました。だから、ひとつ（1液）です。

使いやすくなりました。

二液形浸透性エポキシ樹脂シーラーは付着性が良く、各種性能にすぐれていることは広く実証されています。この特性に加え、

- ★取り扱いが簡便。
- ★価格が手頃。
- ★原液のまま使用できるのでむだがない。
- ★速乾性で塗り重ね乾燥時間が2時間（23℃）など、使い勝手が良くなりました。

2液形と同等の性能です。

塗装すると特殊加工された硬化剤が空気中の水分で活性化し、エポキシ樹脂と反応硬化します。速乾性で新築だけでなく、塗り替えに最適です。

ニッペ一液浸透シーラーは、

各種素材（新築時）によく密着します。

- ★特にもろく吸い込みの大きいケイカル板に浸透固化したり、素材表面が硬く、ち密な押し出し成型板にも強固に密着します。
- ★各種既存塗膜（塗り替え）にニッペ一液浸透シーラーは、よく密着します。
- ★上塗りは一般塗料から弾性塗料まで、1液形から2液形まで、幅広く選択できます。

■用途

外部用下塗り塗料（内部に使用する際には十分に換気し、溶剤中毒にご注意ください。）	
新築	押し出し成型板、PC板、コンクリート、モルタル、スレート板、木部、ケイカル板等の各種素材に。
塗り替え	弾性系仕上材、吹付けタイル、スタッコ、セメントリシン、アクリルリシン、アクリルエナメル、塩化ビニールエナメル、ウレタンエナメル、エマルジョン塗料等の各種既存塗膜に。 ※但し、アクリルや塩ビ系塗膜に塗装する場合は、縮むケースがありますので事前に試し塗りを行ってください。
上塗りには、2液形塗料、塩ビ、アクリル、NAD、水性塗料、複層弾性材、単層弾性材等の各種塗料が使用できます。	

■性能

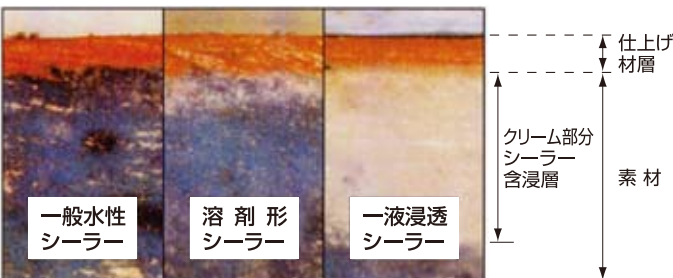
試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
低温安定性	塊がなく組成物の分離、凝集がないこと。	合格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格
耐水性	水に浸して異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性	24時間浸しても異常がないものとする。	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性※	ひび割れないこと。	合格
付着強さ※	標準状態	1.0以上
	浸水後	0.7以上
温冷繰り返し※	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
耐衝撃性※	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格
透水性B法※	0.5以下	合格

JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層塗材REの下塗り材として使用の場合

■塗料性状

引火点	1℃
発火点	480℃（参考値）
化学名	合成樹脂クリヤー塗料
表示	危険物区分 第4類 第1石油類（非水溶性）
危険物等級	II（火気厳禁）
有機溶剤区分	第2種等
有害物表示	キシレン、トルエン、メチルエチルケトン、エチルベンゼン、エポキシ樹脂

■シーラー含浸度比較



【注意】◆当社品での比較
◆素材：珪酸カルシウム板 O社製 比重0.7
◆成分：JIS-A-5430 珪酸カルシウム板 珪酸カルシウムを主成分とする。



ニッペー 液浸透シーラー

■使用方法

[混 合] 使用前に十分かくはんしてください。 [希釈剤] 無希釈

塗 装 方 法	は け 塗 り	ロ ー ラ ー 塗 り
希 釈 率 (%)	0	0
使 用 量 (kg/m ² /回)	ケ イ カ ル 板 ※	0.16~0.20
	押 し 出 し 成 型 板	0.06~0.10
	コ ン ク リ ー ト、モ ル タ ル	0.16~0.20

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。
※ケイカル板はメーカー、比重により使用量が異なりますのでご注意ください。

※エアレス塗装などスプレーによる塗装は飛散した塗料が皮膚に付着すると、カブレを引き起こすおそれがあり、好ましくありませんので避けてください。
※洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までにご相談いただきますようお願いいたします。

■乾燥時間

	5℃~10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	4時間以上 7日以内	2時間以上 7日以内	2時間以上 7日以内

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

■容量・荷姿

ニッペー液浸透シーラー	15kg
荷 姿 = 石油缶 [危険物区分] 第4類第一石油類	
色 相 = 透 明	

■使用上の注意

(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ・山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因になります。)
- ・使用量は、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み個所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。(アスファルト面へ塗装する場合はこの限りではない。)
- ・本シーラーをアスファルト面に多量に塗付すると、アスファルトを痛める恐れがありますので使用量にはご注意ください。また、必ず試験施工を行い1時間以内にアスファルトが軟化しないことを確認してください。(アスファルトが軟化した場合は、使用しないでください。)
- ・本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗り塗装すると、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗り塗装すると、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- ・本品の上には2液形塗料を塗装できますが、塗り替え用のリフティング(縮み)防止には使用できません。
- ・高温下では硬化反応が著しく速くなります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- ・エポキシ樹脂系ですので、皮膚に付着するとかぶれを引き起こすおそれがあります。肌に着しないよう特に注意してください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
- ・既存塗膜は、離隔所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。

- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エプロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑してください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントファイラー、ニッペファイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・屋外の塗装で陰雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ・はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
- ・ローラー、はけなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄することで、専用でご使用ください。
- ・可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接接触することがないようにご注意ください。
- ・平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- ・使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

安全衛生上の注意事項(ニッペー液浸透シーラー)

<ul style="list-style-type: none"> ・本来の用途以外に使用しないでください。 ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。 ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。 ・一禁煙です。 ・容器を密閉してください。 ・容器および受器を接地してください。 ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。 ・火花を発生しない工具を使用してください。 ・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。 ・必要な時は、環境への放出を避けてください。 ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。 ・汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。 ・取扱の際は、手洗いおよびうがいを行ってください。 ・適切な保護手袋/防護マスクまたは防じんマスク/保護眼鏡/保護面罩を着用してください。 ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。 ・飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。 ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。 ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水シャワーで洗ってください。 ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。 ・取り扱った後、手を洗ってください。 ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。 ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください。取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。 ・粉じん、蒸気、ガス等を吸入し込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。 ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。 ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ・水を消火に使用しない。 ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設して子供の手の届かないところに保管してください。 ・直射日光や水濡れは厳禁です。 ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。 ・内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。 ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 <p>※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。</p> <p>□詳細な内容、表示以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。</p> <p>□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>
--	--

危険



危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気/飲み込むと有害のおそれ/皮膚刺激/強い眼刺激/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に毒性(急性)/長期的影響により水生生物に有害

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- 当社は2012年12月現在、ISO 14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは、再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2012 NIPPON PAINT Co.,LTD All rights reserved.

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物

検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.

NP-Q120

NB121203T

2012年12月現在